

日商簿記1級
講師が選んだ過去問題集

答案用紙

決算整理後残高試算表

X 6年3月31日

(単位：千円)

現金預金 ()	支払手形 48,680
受取手形 51,320	買掛金 ()
売掛金 62,680	短期借入金 ()
売買目的有価証券 ()	貸倒引当金 ()
繰越商品 ()	未払費用 ()
未着品 ()	建物減価償却累計額 ()
未収入金 ()	構築物減価償却累計額 ()
前払費用 ()	資産除去債務 ()
建物 2,500,000	資本金 ()
構築物 ()	資本準備金 ()
土地 ()	利益準備金 ()
() ()	任意積立金 45,000
その他有価証券 ()	圧縮積立金 ()
貸倒懸念債権 ()	繰越利益剰余金 ()
仕入 ()	() ()
棚卸減耗損 ()	一般売上 ()
販売費 ()	未着品売上 ()
一般管理費 ()	受取利息 ()
減価償却費 ()	有価証券運用益 ()
利息費用 ()	有価証券利息 ()
貸倒引当金繰入 ()	受取配当金 ()
為替差損益 ()	投資有価証券売却益 ()
売上割引 ()	
貸倒損失 ()	
()	()

第1問

語群A	1	2	3	4	5
語群B					

第2問

状況1

記号	空欄の金額

状況2

記号	空欄の金額

状況3

記号	空欄の金額

状況4

記号	空欄の金額

状況5

記号	空欄の金額

第3問

問1

損益計算書

(単位：千円)

売上高		
商品売上高	()	
役員収益	()	()
売上原価		
商品売上原価	()	
役員原価	()	()
売上総利益		()
販売費及び一般管理費		
販売費	()	
給料手当	()	
退職給付費用	()	
貸倒引当金繰入額	()	
一般管理費	()	
減価償却費	()	
ソフトウェア償却額	()	()
営業利益		()
営業外収益		
受取配当金		()
営業外費用		
社債利息		()
経常利益		()
特別利益		
投資有価証券売却益		()
特別損失		
投資有価証券評価損		()
税引前当期純利益		()
法人税、住民税及び事業税	()	
法人税等調整額	()	()
当期純利益		()

問2

(単位：千円)

①	②	③	④

第1問

イ		ロ	
ハ		ニ	
ホ			

第2問

問 備品A～Dについて、次の①～⑤の各項目の金額を求めなさい。なお、該当する金額がない場合、またはゼロの場合は、解答欄に「－」を記入すること。

- ① 日本商工株式会社の損益計算書において20X8年度に計上される支払リース料
- ② 日本商工株式会社の20X8年度における減価償却費
- ③ 日本商工株式会社の20X8年度における支払利息
- ④ 日本商工株式会社の20X8年度末のリース資産の帳簿価額
- ⑤ 日本商工株式会社の20X8年度末のリース債務（未払利息を除く）の残高

備品	①	②	③	④	⑤
A	千円	千円	千円	千円	千円
B	千円	千円	千円	千円	千円
C	千円	千円	千円	千円	千円
D	千円	千円	千円	千円	千円

第3問

問 次の各項目の金額を求めなさい。

- ① A社株式取得時におけるA社株式取得額に含まれるのれんの金額
- ② 20X8年3月末の連結貸借対照表に計上されるA社株式の金額
- ③ 20X7年度の連結損益計算書に計上される持分法による投資損益の金額
(解答欄の借または貸のいずれかに○を付すこと)
- ④ 20X9年3月末の連結貸借対照表に計上されるB社株式の金額
- ⑤ 20X8年度において、[資料Ⅱ]の3.に関連してP社とA社との取引により売上高に加減する金額
(解答欄の借または貸のいずれかに○を付すこと)

①	千円	②	千円
③	借・貸	④	千円
⑤	借・貸		千円

第1問

貸借対照表
純資産の部

(単位：千円)

株主資本		
資本金	()	
資本準備金	()	
その他資本剰余金	()	()
利益準備金	()	
固定資産圧縮積立金	()	
別途積立金	()	
繰越利益剰余金	()	()
自己株式	()	
株主資本合計	()	
新株予約権	()	
純資産合計	()	

第2問

連結損益計算書

(単位：千円)

費用	金額	収益	金額
売上原価		売上高	
役員原価		役員収益	
広告宣伝費		受取配当金	
減価償却費		受取利息	
のれん償却額		固定資産売却益	
支払手数料		()	
その他の営業費用			
支払利息			
非支配株主に帰属する当期純利益			
親会社株主に帰属する当期純利益			

第1問

ア	イ	ウ	エ	オ

第2問

(1) 満期保有目的債券	千円
(2) 子会社株式	千円
(3) 関連会社株式	千円
(4) その他有価証券	千円
(5) その他有価証券評価差額金（借方残高の場合は金額の前に△を付すこと）	千円
(6) 繰延ヘッジ損益（借方残高の場合は金額の前に△を付すこと）	千円

第3問

	I 欄 下線部の語句の記号	II 欄 正しいと思われる語句または文章
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

第1問

決算整理後残高試算表 (一部) (単位:千円)

売掛金	30,000	貸倒引当金	()
投資有価証券	()	社債	()
長期貸付金	()	その他資本剰余金	()
繰延税金資産	()	新株予約権	()
その他有価証券評価差額金	()	有価証券利息	()
自己株式	()	受取配当金	1,100
社債利息	()	法人税等調整額	()
貸倒引当金繰入額	()		
貸倒損失	()		
投資有価証券評価損	()		

第2問

問1 _____ 百万円

問2

連結貸借対照表 (単位:百万円)

流動資産	()	流動負債	()
有形固定資産	()	固定負債	()
のれん	()	資本金	()
		利益剰余金	()
		非支配株主持分	()
	()		()

問3 _____ 百万円

第1問

ア	イ	ウ	エ	オ

第2問

問1

損益計算書 (一部)

(単位:千円)

	20X2 年度 (20X2年4月1日～20X3年3月31日)		20X3 年度 (20X3年4月1日～20X4年3月31日)	
売上高	3,314,000		()	
売上原価				
期首商品棚卸高	()	()	()	()
当期商品仕入高	()	()	()	()
合計	()	()	()	()
期末商品棚卸高	()	()	()	()
売上総利益	()		()	
販売費及び一般管理費				
減価償却費	()	()	()	()
営業利益	()		()	

問2

(1)	20X2年度期首における会計方針の変更による累積的影響額	千円
(2)	20X2年度期首における過去の誤謬の訂正による累積的影響額	千円
(3)	20X2年度における遡及処理後の当期純損益	千円
(4)	20X3年度における繰越利益剰余金の期末残高	千円

第3問

	I 欄 下線部の語句の記号	II 欄 正しいと思われる語句または文章
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

問1

(単位：千円)

①	②	③	④	⑤

問2

本支店合併損益計算書

自20X6年4月1日 至20X7年3月31日 (単位：千円)

I 売上高	()	
II 売上原価		
1 期首商品棚卸高	()	
2 当期商品仕入高	()	
合計	()	
3 期末商品棚卸高	()	
差引	()	
4 棚卸減耗損	()	
5 商品評価損	()	()
売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費		
1 営業費	()	
2 貸倒引当金繰入	()	
3 減価償却費	()	
4 退職給付費用	()	()
営業利益		()
IV 営業外収益		
1 受取利息	()	
2 有価証券利息	()	
3 受取家賃	()	()
V 営業外費用		
1 ()	()	
2 為替差損	()	()
経常利益		()
VI 特別利益		
1 固定資産売却益		2,970
VII 特別損失		
1 投資有価証券評価損	()	
税引前当期純利益	()	
法人税、住民税及び事業税		274,000
当期純利益	()	()

問3

(単位：千円)

売掛金 (貸倒引当金控除前)	満期保有目的債券	その他有価証券	建物減価償却累計額	繰越利益剰余金

第1問

1	2	3	4

第2問

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)

(オ)	(カ)	(キ)	(ク)

(ケ)	(コ)	(サ)	(シ)

第1問

(イ)		(ロ)	
(ハ)		(ニ)	
(ホ)			

第2問

問 次の各項目の金額を求めなさい。

- ①退職給付費用 ②退職給付引当金 ③法人税等調整額
- ④連結貸借対照表における退職給付に係る負債

- ⑤連結包括利益計算書における退職給付に係る調整額 (税効果の金額控除後)

①	千円	②	千円	③	千円
④	千円	⑤	千円		

第3問

問1 合併直前の甲社の諸資産の帳簿価額を求めなさい。

千円

問2 合併時に事業Bに配分されるのれんの金額を求めなさい。

千円

問3 20X8年3月31日の決算にあたってのれん配分前の事業Aを構成する資産から生じる減損損失を求めなさい。

千円

問4 20X8年3月31日の決算にあたってのれんを含むより大きな単位で事業Aに生じる減損損失を求めなさい。

千円

問5 20X8年3月31日における減損損失控除後ののれんの帳簿価額を求めなさい。

千円

問1

(単位：千円)

①	②	③	④	⑤

問2

損 益 計 算 書

自2X18年4月1日 至2X19年3月31日 (単位：千円)

I 売上高		
1 一般売上高	()	
2 小売売上高	()	()
II 売上原価		
1 期首商品棚卸高	()	
2 当期商品仕入高	()	
合計	()	
3 他勘定振替高	()	
4 期末商品棚卸高	()	()
売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費		
1 販売費	()	
2 一般管理費	()	
3 貸倒引当金繰入	()	
4 減価償却費	()	
5 退職給付費用	()	()
営業利益		()
IV 営業外収益		
1 受取配当金	()	
2 受取利息	()	()
V 営業外費用		
1 貸倒引当金繰入	()	
2 支払利息	()	
3 社債利息	()	()
経常利益		()
VI 特別利益		
1 固定資産売却益		()
VII 特別損失		
1 ()		()
税引前当期純利益		()
法人税、住民税及び事業税		()
当期純利益		()

問3

(単位：千円)

建物の帳簿価額	社 債	リース債務	資本準備金	繰越利益剰余金

第1問

(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)

(ホ)	(ヘ)	(ト)	(チ)

(リ)	(ヌ)	(ル)

第2問

問1

連結貸借対照表

20X3 年度末現在

(単位：千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現金預金		買掛金	
売掛金		長期借入金	
棚卸資産		資本金	
有形固定資産		資本剰余金	
のれん		利益剰余金	
投資有価証券		その他の包括利益累計額	
		非支配株主持分	

問2

親会社株主に帰属する当期純利益	包 括 利 益
千円	千円

問1

①	②	③	④	⑤
千円	千円	千円	千円	千円

問2

損益計算書

自20X5年4月1日至20X6年3月31日 単位：千円)

I 売上高				1,233,576
II 売上原価				
1 期首商品棚卸高	()			
2 当期商品仕入高	()			
合計	()			
3 期末商品棚卸高	()			
差引	()			
4 棚卸減耗損	()			
5 商品評価損	()	()		
売上総利益			()	
III 販売費及び一般管理費				
1 販売費	()			
2 一般管理費	()			
3 貸倒引当金繰入	()			
4 減価償却費	()			
5 資産除去債務利息費用	()			
6 資産除去債務履行差額	()			
7 支払手数料	()			
8 退職給付費用	()	()		
営業利益			()	
IV 営業外収益				
1 為替差益	()			
2 受取利息	()	()		
V 営業外費用				
1 株式交付費償却	()			
2 支払利息	()	()		
経常利益			()	
VI 特別利益				
1 固定資産売却益			3,500	
VII 特別損失				
1 減損損失			1,890	
税引前当期純利益			()	
法人税、住民税及び事業税			()	
当期純利益			()	

問3

商品	自己株式	退職給付引当金	その他資本剰余金	繰越利益剰余金
千円	千円	千円	千円	千円

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
(オ)	(カ)	(キ)	(ク)
(ケ)	(コ)	(サ)	(シ)
(ス)	(セ)	(ソ)	(タ)
(チ)	(ツ)	(テ)	(ト)

※ (シ) の金額が減少額である場合、金額の前に「-」(マイナス) 符号を付しなさい。

		金額
(1)	原料B当月購入単価	千円
(2)	原料A当月消費額	千円
(3)	第1工程加工費配賦額	千円
(4)	第2工程加工費実際発生額	千円
(5)	第1工程完成品原価(原料費)	千円
	第1工程完成品原価(加工費)	千円
(6)	第2工程月初仕掛品原価(前工程費)	千円
	第2工程月初仕掛品原価(加工費)	千円
(7)	第2工程完成品原価(原料費)	千円
	第2工程完成品原価(加工費)	千円

問1

問2

製品Xの生産量 = 個製品Yの生産量 = 個

問3

(1) 製品Xの生産量 = 個製品Yの生産量 = 個(2) 低価格の材料を使用した方が、しない場合に比べて、 円だけ

{ 有利である。
不利である。

(いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)

問4

(1) 臨時の注文200個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、 円だけ

{ 有利である。
不利である。

(いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)

(2) 臨時の注文300個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、 円だけ

{ 有利である。
不利である。

(いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)

第1問

問1

_____ 円

問2

(1) _____ 円

(2) _____ 円 (借方 ・ 貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問3

(1) _____ 円

(2) _____ 円/ロット

(3) _____ 円 (借方 ・ 貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問4

(1) _____ 円

(2) _____ 円

問5

(1) _____ 円 (借方 ・ 貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

(2) _____ 円 (借方 ・ 貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問6

第2問

①	仕 損 費	予 定 配 賦 額	加 工 費	異 常 仕 損 費	原 価 差 異
②	材 料 受 入 価 格 差 異	異 常 仕 損 費	非 原 価 項 目	処 分 価 額	操 業 度 差 異
③	完 成 品	売 上 原 価	営 業 外 費 用	材 料 消 費 高	良 品
④	科 目 別	指 図 書 別	組 別	等 級 別	部 門 別

問1

①	工 程 管 理	検 査	補 修
②	連 産 品	副 産 物	仕 損 品
③	補 修		修 理
④	補 修		修 理
⑤			(万円)
⑥			(%)

問2

⑦	意 思 決 定	業 績 評 価	予 算 管 理
⑧	原 価 差 異 分 析	差 額 原 価 収 益 分 析	C V P 分 析
⑨			(万円)
⑩			(万円)
⑪			(万円)
⑫			(万円)
⑬	第 1 案		第 2 案
⑭			(万円)

問1

素 材 x	円	(借方 、 貸方)
半製品 x - 2	円	(借方 、 貸方)
半製品 x - 3	円	(借方 、 貸方)

問2

第1加工工程	円	(借方 、 貸方)
第2加工工程	円	(借方 、 貸方)
仕 上 工 程	円	(借方 、 貸方)

問3

仕 掛 品		(単位：円)
月初仕掛品 ()	製 品 ()	
素 材 ()	月末仕掛品 ()	
直接労務費 ()	外注先負担分 ()	
直 接 経 費 ()	原 価 差 異 ()	
製造間接費 ()		
()	()	

(注) 下記の 内に計算結果を記入しなさい。問3、問4では、内製、購入のうち、該当する文字または文章を○で囲み、不要の文字または文章を消しなさい。また問4の [] 内には適切な番号を記入しなさい。

問1 第5製造部の製造間接費の原価分解

(1) 製品1台当たりの変動製造間接費 = 万円

(2) 月間の固定製造間接費 = 万円

問2 第5製造部長の6か月間の給料総額 = 万円

問3

(1) 次期6ヵ月間の生産量が 台より多ければ、
 { 内製 } が有利である。
 { 購入 }
 { 内製・購入のどちらでもよい。}

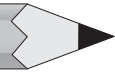
(2) 次期6ヵ月間の生産量が 台より少なければ、
 { 内製 } が有利である。
 { 購入 }
 { 内製・購入のどちらでもよい。}

(3) 次期6ヵ月間の生産量が 台に等しければ、
 { 内製 } が有利である。
 { 購入 }
 { 内製・購入のどちらでもよい。}

問4

(1) 外部倉庫の賃借料節約額は、内製というコース選択にとっては [] であるといえる。

(2) 次期6ヵ月間の生産量が 台より多ければ、
 { 内製 } が有利である。
 { 購入 }
 { 内製・購入のどちらでもよい。}



問1

(ア)	
(イ)	
(ウ)	
(エ)	
(オ)	

問2

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

①		⑪	千円
②		⑫	千円
③		⑬	
④	千円	⑭	
⑤	千円	⑮	千円
⑥	千円	⑯	
⑦		⑰	千円
⑧		⑱	
⑨		⑲	
⑩		⑳	

問1

- ① 材料仕入高 _____ 円
- ② 直接材料費 _____ 円
- ③ 製造間接費 _____ 円
- ④ 製品完成高 _____ 円
- ⑤ 売上原価 _____ 円
- ⑥ 在庫金利 _____ 円
- ⑦ 営業利益 _____ 円
- ⑧ 売上高営業利益率 _____ %

問2

- ① 設計 適合性 安全 (いずれかを○で囲みなさい)

- ② _____ 円
- ③ 予防 評価 失敗 (いずれかを○で囲みなさい)

- ④ 標準 実際 機会 支出 (いずれかを○で囲みなさい)

問3

- ㉗ _____
- ㉘ _____
- ㉙ _____
- ㉚ _____

問1 各代替案の税引前キャッシュ・フロー

(単位：万円)

	第0年度末	第1年度末	第2年度末	第3年度末	第4年度末
甲案					
乙案					

(注) キャッシュ・フローがマイナス(現金支出)の場合は、数字を括弧で括りなさい。

問2 各代替案の税引後キャッシュ・フロー

(単位：万円)

	第0年度末	第1年度末	第2年度末	第3年度末	第4年度末
甲案					
乙案					

(注) キャッシュ・フローがマイナス(現金支出)の場合は、数字を括弧で括りなさい。

問3

(単位：万円)

	甲案	乙案	差額(甲案-乙案)
正味現在価値			

(注) 正味現在価値がマイナスの場合は、数字を括弧で括りなさい。

したがって、新設備を導入する方が(有利、不利)である。

(二重線を引いて不要の文字を消しなさい。)

問1

_____ 円/個

問2

(1)	_____	kg
(2)	_____	時間

問3

①	_____
②	_____
③	_____

問4

月次損益		(単位：円)	
売上原価 ()	売上高		7,000,000
営業費 ()			
営業利益 ()			
			7,000,000

問5

月次損益		(単位：円)	
売上原価 ()	売上高		11,200,000
営業費 ()			
営業利益 ()			
	11,200,000		11,200,000
内部利益控除 ()	本社営業利益 ()		
全社の営業利益 ()	工場営業利益 ()		
()	()		

第1問

- 問1
- 問2
- 問3 千円
- 問4
- 問5
- 問6 %
- 問7

第2問

- 問1 X製品 円 Y製品 円
- 問2 X製品 個 Y製品 個
- 問3
(1) 円
(2) 円

問4

①	直接原価計算	最小自乗法	多重回帰分析	線形計画法
②	非基底変数	独立変数	スラック変数	従属変数
③	貢献利益図表	機能原価分析表	損益分岐図表	シンプレックス表
④	シンプレックス基準	貢献利益	ピボット・エレメント	シャドウ・プライス

問1

購入原料価格差異	円 ()
----------	-------

問2

原料費の差異分析	原料配合差異	円 ()
	原料歩留差異	円 ()
直接労務費の差異分析	労働賃率差異	円 ()
	労働能率差異	円 ()
	労働歩留差異	円 ()
変動製造間接費の差異分析	予 算 差 異	円 ()
	能 率 差 異	円 ()
	歩 留 差 異	円 ()
標準変動費差異合計		円 ()

問1, 問2の () 内には「有利な差異」の場合には F と記入すること。
「不利な差異」の場合には U と記入すること。

問3

実際損益計算書

(単位：円)

売 上 高	()
標 準 変 動 費	()
標 準 貢 献 利 益	()
標 準 変 動 費 差 異	()
実 際 貢 献 利 益	()
固 定 製 造 間 接 費	()
棚 卸 資 産 金 利	()
設 備 金 利	()
販 売 手 数 料	()
固 定 一 般 管 理 費	()
残 余 利 益	()

問1 予算貢献利益 () 円

 予算営業利益 () 円

問2 予算現金残高 () 円

問3 所要借入額 () 円

問4 予算経常利益 () 円

問5 ① () %

 ② () %

 ③ () %

 ④ ()

 ⑤ () 円

 ⑥ () g

 ⑦ () 円

 ⑧ () 円

問1

借方科目	金額	貸方科目	金額

問2

仕掛直接材料費

前月繰越	()	製品	()
当月消費高	()	次月繰越	()
	()		()

- 問3 製造間接費予定配賦額 () 円
 製造間接費配賦差異 () 円
 < 借方差異 貸方差異 差異はゼロ >
 注：< >内はいずれかを○で囲みなさい。

- 問4 販売費予定配賦額 () 円
 販売費配賦差異 () 円
 < 借方差異 貸方差異 差異はゼロ >
 注：< >内はいずれかを○で囲みなさい。

- 問5 売上総利益 () 円
 営業利益 () 円

第1問
問1

直接原価計算方式による月次損益計算書

(単位：円)

	第1工程	第2工程	第3工程
売上高	2,560,000	1,230,000	3,640,000
変動売上原価：			
直接材料費	3,200,000	240,000	160,000
直接加工費			
変動間接加工費			
前工程費	0		
計			
次工程振替高			
差引：変動売上原価			
貢献利益			
固定費			
工程利益			1,343,880

問2

	第1工程	第2工程	第3工程
貢献利益率	%	%	%
工程利益率	%	%	%

第2問

	I 欄	II 欄
(1)		
(2)		
(3)		

貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産		I 流動負債	
()	()	買掛金	()
売掛金	()	短期借入金	()
商品	()	未払金	()
貯蔵品	()	未払費用	()
前払費用	()	()	()
未収収益	()	()	()
仮払金	()	預り金	()
貸倒引当金	()	賞与引当金	()
II 固定資産		II 固定負債	
有形固定資産		社 債	()
建物	()	()	()
構築物	()	営業保証金	()
工具、器具及び備品	()	負債合計	()
土地	()	純 資 産 の 部	
無形固定資産		I 株主資本	
借地権	()	資本金	()
		資本剰余金	
		資本準備金	()
投資その他の資産		その他資本剰余金	()
()	()	利益剰余金	
()	()	利益準備金	()
破産更生債権等	()	その他利益剰余金	
繰延税金資産	()	繰越利益剰余金	()
ゴルフ会員権	()	II 評価・換算差額等	
貸倒引当金	()	その他有価証券評価差額金	()
		純資産合計	()
資産合計	()	負債及び純資産合計	()

損益計算書

自 2020年4月1日
至 2021年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		()
売 上 原 価		()
売 上 総 利 益		()
販売費及び一般管理費		()
営 業 利 益		()
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	()	
有 価 証 券 利 息	()	
受 取 配 当 金	()	
投資有価証券売却益	()	
()	()	
雑 収 入	()	()
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	()	
社 債 利 息	()	
()	()	
雑 損 失	()	()
経 常 利 益		()
特 別 利 益	()	()
()	()	()
特 別 損 失	()	()
()	()	()
貸倒引当金繰入額	()	
ゴルフ会員権評価損	()	()
税引前当期純利益		()
()	()	
()	()	
()	()	()
当 期 純 利 益		()

販売費及び一般管理費の明細 (単位：千円)

科目	金 額
報酬及び給料手当	485,047
賞 与	()
通 信 費	()
租 税 公 課	()
減 価 償 却 費	97,212
支 払 手 数 料	()
貸倒引当金繰入額	()
賞与引当金繰入額	()
退 職 給 付 費 用	()
そ の 他 の 経 費	195,473
合 計	()

答案
用紙

税
理
士

会
計
士

第1回

第2回

第3回

第4回

第5回

決算整理後残高試算表

(単位：千円)

借 方		貸 方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金		支払手形	4,500
当座預金(X銀行)		買掛金	
外貨預金		未払法人税等	
受取手形		未払消費税等	
売掛金		その他流動負債	256
繰越商品		貸倒引当金	
貯蔵品		資産除去債務	
オプション資産		繰延税金負債	
為替予約		資本金	30,000
その他流動資産	3,136	繰越利益剰余金	91,444
建物附属設備		その他有価証券評価差額金	
機械装置		繰延ヘッジ損益	
器具備品		売上	
土地	69,436	受取利息	50
投資有価証券		為替差損益	
繰延税金資産		貸倒引当金戻入	
仕入		雑収入	
棚卸減耗損		投資有価証券売却益	
商品評価損		法人税等調整額	
給料	80,300		
租税公課			
通信費			
旅費交通費			
利息費用			
減価償却費			
その他営業費用	6,274		
雑損失			
固定資産除却損			
投資有価証券売却損			
法人税等			
合計		合計	

問1 X2年度末

- ① P社の連結貸借対照表上のA社株式 百万円
- ② ①のA社株式に含まれているのれん 百万円
- ③ B社株式に含まれているのれん 百万円

問2 X3年度末

- ① 連結修正仕訳においてA社の資本と相殺されるP社のA社株式に対する投資 百万円
- ② 段階取得に係る差益 百万円
- ③ P社の連結貸借対照表上のA社に係るのれん 百万円
- ④ A社に係る非支配株主持分 百万円
- ⑤ B社に係る非支配株主持分 百万円
- ⑥ P社の連結貸借対照表上の為替換算調整勘定 百万円

問3

(単位：百万円)

(借)	非支配株主持分当期変動額 ()	(貸)	B社株式 ()
	() 当期変動額 ()		

問 1

貸借対照表

(単位：千円)

現金預金	961,000	未払法人税等	()
製品	()	長期借入金	2,000,000
商品	()	退職給付引当金	()
仕掛品	()	企業結合に係る特定勘定	()
A事業部資産	()	A事業部資産減価償却累計額	()
B事業部資産	()	B事業部資産減価償却累計額	()
C事業部資産	()	C事業部資産減価償却累計額	()
共用資産	()	共用資産減価償却累計額	()
のれん	()	資本金	1,000,000
投資有価証券	()	資本準備金	540,000
繰延税金資産	()	利益準備金	150,000
		繰越利益剰余金	()
		その他有価証券評価差額金	()
	()		()

損益計算書

(単位：千円)

期首製品棚卸高	40,000	A事業部売上高	1,800,000
期首商品棚卸高	160,000	B事業部売上高	2,800,000
当期商品仕入高	3,900,000	C事業部売上高	2,000,000
当期製品製造原価	()	期末製品棚卸高	()
棚卸減耗損	()	期末商品棚卸高	()
棚卸資産評価損	()	投資有価証券売却益	90,000
販売費	100,000	企業結合に係る特定勘定取崩益	()
労務費	()	法人税等調整額	()
退職給付費用	()		
減価償却費	()		
のれん償却額	()		
その他経費	()		
支払利息	100,000		
減損損失	()		
事業整理損失	()		
法人税、住民税及び事業税	()		
当期純利益	()		
	()		()

問2

修正案に基づいた場合の減損損失 千円

修正案に基づいた場合のB事業部資産
の減損処理後の帳簿価額 千円

問3

(1)	(2)	(3)	(4)

問4

(5)	(6)

問5

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額

答案
用紙

税
理
士

会
計
士

第1回

第2回

第3回

第4回

第5回

問1

第3四半期合併損益計算書

X20年4月1日～X20年12月31日

(単位：千円)

売上原価 ()	売上高 ()
その他費用 898,500	四半期純損失 ()
()	()

第3四半期合併貸借対照表

X20年12月31日

(単位：千円)

現金預金 606,000	諸負債 1,245,000
商品 ()	資本金 350,000
S社株式 48,000	資本剰余金 5,000
その他資産 520,000	利益剰余金 ()
()	()

問2

第3四半期連結損益計算書

X20年4月1日～X20年12月31日

(単位：千円)

売上原価 ()	売上高 ()
のれん償却額 ()	親会社株主に帰属する四半期純損失 ()
その他費用 933,500	
非支配株主に帰属する四半期純利益 ()	
()	()

第3四半期連結貸借対照表

X20年12月31日

(単位：千円)

現金預金 631,000	諸負債 1,290,000
商品 ()	資本金 ()
のれん ()	資本剰余金 ()
その他資産 ()	利益剰余金 ()
()	非支配株主持分 ()
()	()

問3

個別財務諸表 移転損益 千円

連結財務諸表 移転損益 千円

問4

個別財務諸表 子会社株式 千円

連結財務諸表 資本剰余金 千円

連結財務諸表 非支配株主持分 千円

問5

個別・連結財務諸表 移転損益 千円